

2011年度

2011年度	科目名					病院薬剤師論	
	担当教員		西井 諭司				
	配当		薬学6		コード	80831	
	開期		集中前期	講時	集中0限	単位数	2
	授業テーマ		最近の病院薬剤師の業務を理解し、チーム医療における薬剤師の役割を学ぶ。				
	目的と概要		現在の病院薬剤師の業務は、従来の調剤、製剤、薬品管理、医薬品情報管理、患者への服薬指導などの業務に加えてチーム医療の一員として、より専門性の高い薬剤業務が求められている。例えば「癌化学療法専門薬剤師」「院内感染制御専門薬剤師」「緩和医療専門薬剤師」「栄養管理専門薬剤師」などがあり、「チーム医療と薬剤師」の総論から各領域の専門薬剤師の最近の活動を紹介し、より高度な薬剤師へのモチベーションを高める。特に「薬学6」は病院実務実習を体験した後の拡張的な講義として、さらに医療現場と密接に関連付けた具体的な症例、具体的な活動状況等を紹介していく。				
	成績評価法		全ての授業終了後の論述式試験(60%)と平常点(40%)				
	テキスト		資料を配布する				
	参考書		「2010年版薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト」／病院薬局実務実習近畿地区調整機構監修／じほう社 必要に応じて紹介します。				
	履修に当たっての注意・助言／準備学習		6年次講義は、病院実務実習修了後に行う。各病院で見聞したことや体験したことを思い出しながら、もう一度、病院薬剤師の業務についてまとめる。				
講義計画							
5年次3コマ、6年次12コマの集中講義を行う。 補助教員:小川雅史、廣谷芳彦、小西廣己、上島秀樹、名徳倫明、初田泰敏、川西園代、池田賢二、伊賀幾美							
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)		コア対応番号	学習領域	
4	講義	薬剤管理指導[1] 病棟薬剤師活動の実際	1. 病棟業務における薬剤師の業務(薬剤管理、与薬、リスクマネジメント、供給管理など)を概説できる。		本学独自	知識	
			2. 薬剤師の業務内容について、正確に記録をとり、報告することの意義を説明できる。		本学独自	知識	
			3. 医薬品の適正使用の重要性について概説できる。		本学独自	知識	
5	講義	薬剤管理指導[2] 服薬指導の実際①	1.患者の基本的権利、自己決定権、IC、守秘義務などについて説明できる。		本学独自	知識	
			2. 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。		本学独自	知識	
			3. 患者への接遇に際し、配慮すべき点を列挙できる。		本学独自	知識	
			4. 医療スタッフが日常使っている専門用語を挙げて説明できる。		本学独自	知識	
6	講義	薬剤管理指導[3] 服薬指導の実際②	1. 服薬指導に必要な患者情報を列挙し、説明できる。		本学独自	知識	
			2. 診療録、看護記録、重要な検査所見など種々の情報源から必要な情報を収集できる。		本学独自	知識	
			3. 患者の診断名、病態から薬物治療方針を把握できる。		本学独自	知識	
			4. 代表的な医薬品について、患者への適切な服薬指導ができる。		本学独自	知識	
7	講義	処方設計への関与(1) 処方解析とリスク管理	1. 処方解析の意義と目的を概説できる。		本学独自	知識	
			2. 処方解析に際しての基本的なキーワードを挙げ、それらについて説明できる。		本学独自	知識	
			3. 処方解析することにより、より効果的な薬物療法とリスクマネジメントを達成できることを理解する。		本学独自	知識	
8	講義	処方設計への関与(2) TDM業務の実際	1. 薬物療法におけるTDMの必要性について概説できる。		本学独自	知識	

			2. 病院内におけるTDM業務の流れと、薬剤師の役割について説明できる。	本学独自	知識
			3. 対象となる代表的な薬物を挙げ、その解析方法について概説できる。	本学独自	知識
9	講義	病院薬剤部(薬局)の役割(1) 処方オーダーリングの実際	1. 処方オーダーリングシステムについて概説できる。	本学独自	知識
			2. 紙を媒体とした処方せんと、コンピュータによる処方オーダーの違い(良い面、悪い面)について理解できる。	本学独自	知識
			3. 処方せんの書き方(入力方法)について、医療安全管理(リスクマネジメント)の面から考えてみる。	本学独自	知識
10	講義	病院薬剤部(薬局)の役割(2) 治験業務の実際	1. 治験(臨床試験)の意義を説明できる。	本学独自	知識
			2. 病院における治験実施の流れを概説できる。	本学独自	知識
			3. 治験薬の管理について説明できる。	本学独自	知識
			4. 患者への同意取得に際して、説明すべき項目について列挙できる。	本学独自	知識
11	講義	病院薬剤部(薬局)の役割(3) 薬事委員会への関与<後発医薬品>	1. 先発医薬品と後発医薬品の違いを様々な角度から比較し、それぞれの特徴(長所、短所)を説明できる。	本学独自	知識
			2. 先発医薬品と後発医薬品の品質について考えてみる。	本学独自	知識
			3. 国民医療費、病院経営、医療経済などの角度から「先発医薬品と後発医薬品」について考える。	本学独自	知識
			4. 病院内における適正医薬品在庫について考える	本学独自	知識
12	講義	専門薬剤師の役割(1) 緩和医療と薬剤師	1. 緩和ケアの考え方を説明できる。	本学独自	知識
			2. WHOの疼痛治療法について説明できる。	本学独自	知識
			3. 代表的な疼痛治療薬について、投与経路、作用時間、副作用などの特徴を説明できる。	本学独自	知識
			4. 緩和医療における薬剤師の役割を説明できる。	本学独自	知識
13	講義	専門薬剤師の役割(2) 感染制御と薬剤師	1. 感染対策に対する病院内組織について概説できる。	本学独自	知識
			2. 感染対策チーム(ICT)における薬剤師の役割について説明できる。	本学独自	知識
			3. 代表的な消毒薬について、適応菌種、適応部位、使用濃度、毒性などを説明できる。	本学独自	知識
14	講義	専門薬剤師の役割(3) 薬剤師のNST活動	1. 病院内における栄養サポートチーム(NST)の構成と活動について概説できる。	本学独自	知識
			2. NSTにおける薬剤師の役割について説明できる。	本学独自	知識
			3. 代表的な栄養輸液製剤について適応症、用法用量、特徴などを比較できる。	本学独自	知識
15	講義	総括(まとめ)	1. 安心・安全な医療を提供するための病院薬剤師業務について概説できる	本学独自	知識
			2. 病院薬剤部(薬局)におけるマネジメントについて概説できる	本学独自	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
病院薬剤師論	講義	講義室	1(9)	プリント、パワーポイント、DVD	90分×12回